

軍艦須磨

1196

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

軍令部

軍務局

電

電

情報
コウカイ出店

電報譯

受信者

海軍大臣

発信者

須賀野

一月十三日 午後七時五十分

局着 局發

(花時局)

海軍

1197

供覽

電

軍務局

東本局

二月一日 午前七時廿五分 大坂局發

發信者

須磨船長

受信者

大五

電報譯

三十日

廈門入港

(3)

海軍

1198

供覽

電

軍務局

軍令部



五

一月十日 日午

四時四十分 大津站

局發

發信者

受信者 海軍大臣

須磨艦長

電報譯

省地目下平穩仍等懸念之所ナキニ
依リ台湾總督府ト交渉ノ上十七日厦
門ニ向テ出港ニ十八日着予定

3

海軍

汕頭
大船之丸石屋

(花崎)

1199

軍令部

軍務

免

電

月 三 日 午 三 時 一 分 總 務 局 發
月 三 日 午 五 時 四 〇 分 局 着

發信者

受信者

海軍大臣 須 廣 能 長

電報譯

二十一日 米國軍艦 ビスカタワ入港

海軍

1200

軍令部

軍務部

供覽

電

受信者

電報譯

發信者

一月二十日 午三時四一分
月々日 午々五時四五分

二十日 獨逸 海軍部 出信

（原）

須ノ長

總務部 局長 局着

海軍

1201

供覽

海軍

四十五年

三月

月

十五日

日

午

前

十一時

四十分

分

分

分

分

分

分

分

分

分

分

分

分

分

發信者 須ノ艦長

受信者 海軍大臣

電報譯

龍田十四日上油ニ向ケ出港。東雲十五日廈門ニ向ケ

マ下迄。

台湾銀行ニ兵員派遣方ハ高小必要ト認ム

十四日ヨリ本艦兵員ヨ以テ東雲ノモノト交代セシ

メタリ陸上ノ情況ハ市民概シテ林派ニ傾ク

ニ依リ表面平穩ノ情ヲ呈スルモ本ガ本心

スル能ハズ。

潮州ニ退キタル陳ハ十三日夜密カニ普田地ニ歸

海軍

リ来レリ其ノ目的ハ知ル能ハザルモ目下兩軍
 ノ勢力ニ大ニ差アルガ故ニ陳ヨリ攻勢ヲ能ハズ
 ヲ採ルコトハ萬無カルハキモ感ハルナル衝突
 生ルヤモ謀ラレズト考フ、陳萬一ノ際ホ
 除ニ類セバ本艦ニ投ズルノ意思志アル如ク
 想像セラル
 (十五日二時三十分頃)

海軍

軍令

四十五年三月

月 八

日 午

五時五分

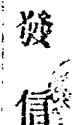
午後

五時五分

午後

五時五分

午後



受信者

海軍大臣

須磨正長
海軍大臣官邸

電報譯

軍令

軍令

林徽真ハ猶ホ碣石湾ニ駐軍シニ、三日、
 中ニ汕頭ニ至ルヘシト揚言シ居レリ、陳
 ノ兵力微弱ニ至テ到底ニ對抗スルコト
 能ハサルヘク兩者ノ間ニ騷擾ヲ惹起ス
 コトハ先ツアラサルヘシト想像セララルル此
 ニ至テ市民ハ勢ヒ林ヲ迎フルニ至ルベク
 後テ平和ニ局ヲ結フヘシト思ハル本邦ハ
 今暫ク駐マリ形勢ヲ見ルラ必要ト認ム(七日)

須磨正長

海

軍

(三)

經由

(花崎)

1204

供覽

電

電報局

軍令部

三月九日午前十時十五分 佐世保、局發
局著

受信者 海軍大臣 須戸艦長 (佐世保經由)

電報譯

林激真ハ當地ヨリ海上約九哩ノ潮湯ニ来
リタル如シ、陣ハ極力之ヲ撃テ攘セシトテ兵ヲ
各所ニ配置シ嚴重警戒ニシテ市街要所
ニ柵ヲ建テ陣ヲ築キテ守ルヨリ置キ通行人
誰何スル等形勢ヲ穩ニ狀ヲ呈セリ領子ノ團
ノ名ヲ以テ西軍ニ警告告ヲ出ラハタルモ其ノ
實東ナシ。

海軍

計り難し。萬一有事發生ノ時ハ日英ノ助力
ニ依リ度旨外國人ヨリ請求セルモノ多シ
本艦ハ陸戰隊派遣ノ準備ヲ整ヘ時様ヲ
待テ居シリ(七日)

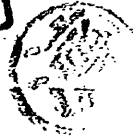
海軍

供覽

海軍

軍務局

軍令部



<p>昭和五年三月十日午後六時五五分</p> <p>張修五五五</p> <p>局着</p>	<p>受信者 海軍大臣</p> <p>電報譯</p>	<p>朝陽の... 英艦... 九日</p> <p>朝陽の... 英艦... 九日</p>
---	----------------------------	---

海軍

1207

信覽

電

軍務

軍令

九

三月十日 午後九時五分 東京局發

受信者

須磨少佐長

電報譯

軍務 須磨少佐長 東京局發 三月十日 午後九時五分 東京局發 須磨少佐長 電報譯 受信者 須磨少佐長

海軍

1208

James Buchanan James Pritchard James
及子に之 藩田 経長

海軍

復讐

電

軍務部

軍令部

正午五午五

月 十日 午 時 一分
月 十一日 午 前 二 時 三 分

佐世係 局 發

發信

海軍大臣

須磨野長

受信者

電報譯

九日潮陽方面に於て陳林ノ兩軍戦
 交へタルコトハ確實ナリ其
 區々之ヲ信ヲ措クニ足ラス各方面ノ報
 ヲ綜合セバ陳軍稍々不利ナリ之カ如ク陳
 軍死傷約三十位ナラシカト察セラル林
 軍ノ死傷ハ知ル能ハス十日ハ交戦セザ
 ル如ク尚ホ後報ヲ待チ番細後ヲ

海軍

電

供覽

軍務高

軍令部

四五、三 月 廿二 日 午 八時五分 付立係 局發
月 廿二 日 午 十時三十分 海軍 局著

發信者

受信者 海軍大臣

（馬張望標經由）

電報譯

當地異常ナキ市民ノ避難者陸續ト
シテ港口ス商業院ニド中上ノ次ナナリ
林軍ノ警戒森々ニシテ兵士ハ神々
過敏トナリ偶々一發ノ銃聲ヲ受カバ
各方面ニ於テ數十ノ銃聲ヲ見
重カ方面ニ於テハ角ビ陳林ノ兩兵間
ニ小衝突アリクハ如ク味今林軍ノ
同方面ニ向テ多ク又広東ヨリ尚

海軍

1211

地之派(崖)シタニ異ハ不日來善スル噂
 アリ是等ト在軍ト衝突ヲ生ズルヤモ
 斗リ難クシ之ヲ百本派ニ於テ在傍
 可流英米独將長令同シテ亦又其
 生ノ際協同勦作ヲ期スルニ付協
 定セリ

(了)

(花崎稿)

海軍

伊東 忠雄

軍務局

軍令部

四十五年三月十六日 午後四時五十分 總務局發

發信者 須六艦長

受信者 海軍大臣

電報譯

十五日午後三時 陳林兩軍衝突至今

行合 五時 艦隊ヲ揚ガルマア定

(3)

海軍

1213

供覽

電

軍令部

甲午年三月十六日午前八時
辛身可法信務局發

受借者 大臣

發信者 須一龍長

電報譯

局着

十五日午後三時陳林兩軍衝突し互に銃
砲ヲ交ハ七時半ニ至リ漸ク止メ陳軍漸次
退却シテ砲台ニ入り其間數十発ノ銃丸本
隊ノ附近ニ落下シ本隊ニ命中セシモ七八發アルモ
損害ナシ二個小隊ノ兵ヲ擄去セリ本隊ノ隊
領事ト協議セシ通リニ領事館・台湾銀行
日本郵便局及鐵道官舎及び併國領事館等
不領事館ニ四時合計百餘名ノ隊駐隊

軍令部

海軍

海軍										白	東雲十五日	夕	ヲ上陸セシメテ軍ヲ保護ノ任ニ當リ居シリ
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	-------	---	---------------------

銅山

= 倭



陸

軍務局

軍務局

甲午年三月十七

月

日

午

時

十一

時

十八

分

佐世保

局

發

信

者

局

發

發信者

馬張馬介信

須磨

受信者

海軍大臣

電報譯

十六日日本飛ヨリ衛生部負一担ヲ出シ負
 傷者ノ救護ニ充ラシメタリ市内ニ於テ
 一二少争闘アリタルノミ、昨十五日砲台
 砲ヲ退却セシ陸軍ハ何レモ力退散シ
 七日ハ一兵ヲモ視メサルニ至レリ市街ニ
 陸軍ノ増ミ居ラサルヤリフルヲ為メ
 各庄ニ就キ家宅搜索ヲ行ヘリ控奪
 ハ只今ノ所歸リ甚シカラズ

海軍

侯覽

電

軍務局

司令部

四十五年五月十七日 午二時五分 光秀 局發

發信

受信者

海軍大臣

須磨航長

電報譯

平穩ノ状態ニ復スルヲ以テ十七日陸
戦隊全部引上ケタリ

3

海軍

1217

軍令部

軍務局

供覽

海

四五三

月 月

二十

日 日

午 午

九時二十分

佐

(三) 陸軍省

局 局

(花房局)

受信者大臣

發信者須戸長

電報譯

東雲、陳ヲ棄也十九日媽宮港ニ向ケ出
陸。當旭異伏ナシ。

(3)

海軍

1218

供覽

海

軍務局

軍令

甲午年三月廿四日午八時四十分
發信者 須磨船長
局 着

受信者 海軍大監

電報譯

須磨船長 山口ヨリ電
当地異状アリ

弓張信婦沙

海軍

1219

供覽

軍務局

軍人



四十五年四月四日 午前十時 五分 陸軍省 局發

發信者 總務長

受信者 大臣

電報譯

三日入港セシ汽船ノ報告ニヨリ「アルバニー」
ノ坐標セシガ如シ其後同終ヨリノ無線ニヨリ
全機ハ不達ヲ復シ入渠ノおメ「ヨロシ」ガホ
ニ向クモ「如シ」右機ヲ在スルモ念タメ「報告」
ス

汕頭より厦門へ向う途中

海軍

共覽



軍令下

電

四十五年四月八日

午前一時三十分

伏せ保

局着

(花時)

發信者

須磨 龍長

受信者

海軍大臣

電報譯

七日吳及林ハ當地ノ重ナル商人ト相會
 見セリ、此目的ハ林ニ相當ノ金額ヲ
 吳ハ當地ノ商人ト相會シテ、林ニ
 求ム大ナル金額ヲ、林ニ求ム大ナル
 市街吳狀ヲ、林ニ求ム大ナル金額ヲ、
 又吳及林ノ兩軍ハ互ニ示威運動ヲ爲ス
 如ク、毎日五六百名ノ兵士ヲ、市街
 リ行ク下敷回アリ、吳ハ道基街ニ入リ

海軍

(印)

供覽

電

軍務

軍令

45

四月十日 午前七時五十分

佐世本
三井物産

局發
局着

受信者 大塚

電報譯

其後異状ナシ、吳林ノ兩軍ハ互ニ示
 威運動ヲ行ヒ居レドモ吳林ノ間
 ハ大ニ融和シ居ル如ク認メラル運轉
 止中ノ汽車モ九日ヨリ一部ハ運轉ヲ
 始セリト云フ、
 陸上電線ハ今高不通、
 航海出港

(九日馬張)

海軍

1222

軍令部

共電

電

軍務

受信者 大臣

電報譯

45. 四月 十二

月 日 午前 七時 十二分 佐世保 局 發

領 六 飛 長 (汕頭)

地 黒 状 陸 上 電 信 開 通 セリ 十 日
タ ー ゲ ル (独) 入 港 新 高 三 通 知 海

海 軍

1223

陸軍省

陸軍省

軍令

陸軍省

45. 五月

四月 日午前九時

五分恒春、鶴巻集、局發

發信者

須广徳長

受信者 大臣

電報譯

陳都督ノ行衛不明トナリシ以來林ノ舉
 動一変シ兵ニ對シ挑発的態度ヲ採ルニ
 至リ此レシガ為メ兵ニ附近及其他ニ派遣
 セル部ト下ラ当地ニ呼集シテ形勢ヲ不
 トナシ林軍ヲ輸送ス可キ汽船ヲ集出
 三自入港セシモ林軍果テ直々集出
 發スヤ疑ハシ

四日發

海軍